

「卒業研究」の指導体制と指導教員の決定方法

札幌市立大学 デザイン学部

1. 卒業研究の内容

- ・卒業研究は大学4年間の学部教育の集大成として、講義・演習・デザイン総合実習等で培ったそれぞれの専門分野に基づいて研究テーマを設定し、個々の専任教員の指導を受けながら「論文」および「作品」としてまとめ、研究成果を発表・展示するものです。

2. 指導方法と指導教員

- ・各学生が1名の専任教員の直接指導を受ける、いわゆる「ゼミ方式」です。
- ・学生にとっての指導の充実、教員にとっての負荷均等の考え方から、各教員当たりの受け入れ学生数は、できるかぎりコース内で均等化することが望まれます。
- ・ただし、学生の希望は均等とはならないことが予想されるため、制限を設けます。制限は「下限」とし、原則1教員当たり2名以上の学生を受け入れることとします。

3. 指導教員の決定方法

- ・学生はコース教員の専門分野・研究テーマ等について、事前に十分に調べ、自分の卒業研究テーマに適切な教員を指導教員とすることが望まれます。
- ・学生は「卒業研究希望調査票」に、希望指導教員（第1希望～第5希望）および希望研究テーマ・概要について記載し、指定された期日までにコース教員に提出して下さい。
- ・学生から提出された「卒業研究希望調査票」に基づき、コース教員の協議により指導教員を決定します。

4. 指導教員決定の日程

- ・本年12月中旬に、コース教員はコース学生に対し、指導教員決定に係る方法・日程等についてガイダンスを行います。あわせて「卒業研究希望調査票」を配布します。
- ・学生は翌年1月4日（水）～10日（火）に「卒業研究希望調査票」をコース教務委員に提出します（コース教務委員 空間:山田、製品:矢久保、コンテンツ:松永、メディア:石田 **期限厳守**）。
- ・コース教員はコースで協議の上、指導教員を確定し、学生に周知します。
- ・学生は春季休業前に指導教員を尋ね、研究テーマについて指導を受けてください。

(5. 研究計画書の提出)

- ・指導教員確定後、学生は教員の指導を受けながら、4月下旬に「卒業研究計画書（研究テーマ、概要、スケジュール）」を作成し、提出します。詳細は新年度に周知します。

(以上)